

## 令和4年度 第3回 学校運営協議会議事録要旨

下野市立古山小学校

1 日 時 令和5年2月8日(水) 13:45～14:55

2 会 場 古山小学校 ミーティングルーム

3 出席者

○出席委員 中川 賢一、須藤 勇樹、大垣 美穂、関口 保洋

橋本 英男、青木 浩美、秋山 貴子(校長)

○出席職員 教頭 生澤 昌幸

教務主任 白石 孝子

○その他の出席者 地域学校協働活動推進員 橋本 俊明

○欠席者 小林 靖、紺野 智史

4 協議

### ①教育活動現況報告

- 校長
- ・学校評価について、保護者からお褒めの言葉もあったが、厳しいご意見もいただいた。学校の状況を丁寧に説明し、理解を図っていきたい。
  - ・今年度の卒業式について、昨年とは違い、卒業式前に1～4年児童と卒業生によるお別れの会を実施し、1～4年生は下校。その後、教職員と5年生、保護者の参列で卒業式を実施する予定である。
  - ・新型コロナウイルス感染症対応を3年間行ってきた。5月には、2類から5類に変更することになったが、マスクの着脱等、今後の対応について、教育委員会の指示を受けながら進めていきたい。

### ②学校評価の結果報告及び協議

- 教頭
- ・結果について説明<資料参照>
  - ・今年度からは、GoogleFoamでアンケートを実施した。自由記述欄の記入が増えたが、マイナスの意見も増えた。
- 大垣
- ・コロナ前の生活に、全て戻すことはできないが、子どもたちがもう少し自由にのびのびと過ごすことができるように考えていかなければいけない。
- 関口
- ・未曾有の出来事の中で、制限はあるものの、できるようになってきたことがたくさんある。大人たちも動けるようになってきた。来年からはマスクも取れるでしょうから、生き生きとした活動ができるのではないかと期待している。
- 須藤
- ・アンケートは、無記名ではなく、名前を書いてもいいのではないかと。しかし、マイナス意見を書いてくる保護者は一部だと思う。学校も頑張っていることがわかっている保護者もたくさんいる。

- 橋本 ・ 会社に社内規定があるように、学校には教育方針があり、それに基づいた教育活動が行われている。一方的に意見するのではなく、話し合いができるといいと思う。
- 校長 ・ マスクについても、「すぐにでも外させたい。」「外したいが、外せない。」など様々な考えがある。
- 青木 ・ 学校評価をとる意義は、子どもたちの様子から、学校経営を評価すること。様々な意見をいただくこともあるが、大きく外れてなければいいかと思う。
- ・ 学習に対する主体性が低い理由は、どうしてなのかと思う。こういう点を検討することが必要かと思う。昨年との経年変化はどうか。
- 教頭 ・ 子どもたちの結果は、あまり変わらない。教職員の取組に対する結果は、昨年度より良くなっている。
- 青木 ・ 自由記述は全保護者に配付するのか。
- 教頭 ・ 配付する予定である。
- 青木 ・ 保護者に、何のためのアンケートなのか知っていただくことが必要である。来年度の具体的な手立てとして、反映していることを知っていただければよいと思う。
- 橋本 ・ 先生方も、アンケートの結果を議論するのか。
- 教頭 ・ 職員会議で、結果をまとめたものをもとに、教頭が気を付けていきたいところを伝えている。教員には、各自の学級毎のデータを渡している。それを見て、謙虚に受け止め、今後に活かしていこうとしている。
- 橋本 ・ 家庭で教えないといけないことを、学校がやっているように感じる。
- 秋山 ・ 家庭と両輪で行っている。
- 中川 ・ 学校と家庭が、同じように取り組めるといいと思う。
- ③見守りボランティアについて
- 教頭 ・ 市の予算で作成のマフラー型のタオルを見守りボランティアに配付する。デザインを承認していただく。
- 青木 ・ 数に限りもあるので、まずは、毎日やっていただいただけそうな方から配っていただけるとよい。
- 橋本推進員 ・ 公民館でも紹介したいと思う。
- ④令和5年度学校行事予定
- 白石 <資料参照>
- 教頭 ⑤その他（次年度の組織確認等）
- ・ 次年度も引き続きやっていただける方は、お願いしたい。
- ・ 今年度の卒業式の招待状をお送りするので、是非出席していただきたい。

5 事務連絡・謝辞

(中川副委員長) 今年度は、これで最後の会議になる。お世話になりました。 以上